

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1298700103		
法人名	社会福祉法人希望会		
事業所名	グループホーム第2希望の里		
所在地	千葉県匝瑳市栢田8645-2		
自己評価作成日	令和6年3月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	令和6年3月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

匝瑳市の運営する訪問看護ステーションと医療連携し365日24時間連絡対応体制を整えている。地域の薬局と連携し、薬剤師による服薬管理や薬の作用副作用の説明や服薬の助言を頂いている。歯科医院と連携し、毎月の訪問診療、口腔ケアに関する助言を頂いている。往診専門医院と連携し、毎月の訪問診療、随時の連絡対応体制を整えている。コロナ予防のため行事を開催しないので、ご家族とのランチやドライブや自宅で過ごすことをして頂いている。近隣の医療機関と連携し、コロナ感染者が発生したら、すぐに訪問診療をして頂きラゲブリオなどのお薬を処方して頂いている。インフルエンザ予防接種やコロナ予防接種のために外出するのは高齢者にとって負担であり医療機関での待ち時間に感染するリスクがあるので、近隣の医療機関には定期的に予防接種のために施設にきて頂いている。匝瑳市の介護保険連絡会の本部および施設部会の両方に所属している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

「グループホーム第2希望の里」は同敷地内に、同法人運営のケアハウスやグループホーム希望の里があり、管理者が地域住民であり、地域で暮らす住民の一員として、地域に根差した施設運営を目指している。また、地域の医療機関・訪問看護ステーション・調剤薬局とは家族への説明・日ごろのアドバイス・緊急時の協力等、入居者の安全・安心確保に向け、連携体制を整備している。市とは運営推進会議や匝瑳市介護保険事業所連絡会等を通じて、意見・情報交換を行う等、共に地域の問題解決に向け協力体制を構築している。現在、コロナが5類に移行し、感染対策の緩和はされているが、コロナ禍前の状況に戻っていない為、地域行事への参加は見合わせているものの、家族の協力を得ながら、受診・ドライブ・外出・外食等は感染対策を講じながら行われており、馴染みの人や場所との関係継続を支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を玄関に掲示。	「明るく楽しい長寿社会をつくろう」という運営理念を掲げ、事業所内に掲示すると共に、ホームページやパンフレットに掲載する等、内部・外部の人への周知を図っている。理念については、会議や研修を通して、理念に基づいたサービスの実践に取り組んでいる。毎年、運営理念を全職員に配布する等、意識浸透を図っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の交流は、5年度は当グループホームで感染者が多数発生したため、コロナ予防のため地域の行事に参加しませんでした。	日頃から、近隣住民とは散歩や農作物の提供を受ける等、良好な関係を築いている。管理者が地域住民であり、地域で暮らす住民の一員として、地域活動や関りを積極的に行っている。また、匠瑳市介護保険連絡会へ加入し、本部の役員を担っており、認知症ケアの専門性や実践経験を活かす等、地域貢献を果たしている。現在、コロナが5類に移行し、感染対策の緩和はされているが、コロナ禍前の状況に至っていないため、地域行事への参加は見合わせている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民から相談があると、相談対応実施。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者には、意見をお伺いしてサービス向上に努めています。	市職員・民生委員・地域住民・家族・職員等を構成員として、年6回、運営推進会議を開催している。会議では、活動報告や意見・情報交換を行っていると共に、定期的に民生委員から地域の情報提供も受けている。その他にも、身体拘束排除の委員会も兼ねており、身体拘束をしないケア実践に向けた施設の工夫や取組を伝えている。	

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話やメールや会議などで、随時、相談や意見交換を実施。	市とは日頃から業務上の相談や報告を行っており、施設の実情やケアサービスの取組を伝えている。匝瑳市介護保険事業所連絡会に参加しており、連絡会を通じて、行政と意見・情報交換を行い、協働でサービスの質の向上に取り組む体制を構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修実施。	身体拘束排除における施設方針やマニュアルが整備されており、施設方針を施設内に掲示している。また、内部研修も実施されており、全職員が身体拘束排除における意義浸透を図っている。また、身体拘束適正化検討委員会を運営推進会議と同時開催しており、施設の取組みや方針を地域の人達に明確にしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関する研修実施。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する研修実施。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容を丁寧に説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設から定期的にご家族に手紙を送って身体状態や受診状況などの近況報告しています。	家族の面会時や電話連絡・運営推進会議を通して、意見や要望を確認している。挙げた意見・要望においては、会議や申し送りで周知・検討を図り、適切な対応に努めている。毎月、家族へ手紙を郵送しており、施設での生活や活動状況を伝える等、信頼関係構築に繋げている。	

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の希望休や資格取得のための通学日に休めるように管理者は配慮しています。	定期的に職員会議を開催しており、全職員から意見や提案等を確認している。挙げた意見・要望・情報については、会議で検討しケアに反映させている。その他、個人面談を実施し、職員一人ひとりの希望・思い・人間関係等を把握している。	定期的に職員会議を開催し、全職員から意見や提案の確認を行っている。今回の職員アンケートにおいて、就労に関する不満や人間関係に対するご意見が多数挙げられている。今後、アンケート集計結果をもとに、職員と話し合う機会を設け、日頃の職員の努力や実績・勤務状況の把握等、職員各々が向上心を持って支援できるような対応や職場環境の整備に取り組んで頂くことに期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望休を反映することでプライベートの充実につなげています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ケアマネジャーや介護福祉士の受験対策講座への参加者には往復の交通費を法人が負担。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	匝瑳市介護保険連絡会に参加。統括施設長は、施設部会と本部の両方に所属。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	在宅のケアマネジャーやソーシャルワーカーから情報を得ています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族から入居前に情報を提供して頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪問看護ステーション、訪問診療クリニック、福祉用具専門相談員、薬局、訪問歯科クリニックと連携しています。		

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の様子を見つつ、随時、声掛けしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に、定期的に手紙で近況報告をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ予防しつつ、玄関先で対面の面会を可能としています。ご家族とのランチやドライブや自宅ですごすことを可能としています。	希望に応じて、知人・友人・家族の玄関先での面会を受け入れており、相互の馴染みの関係を大切にしている。また、希望に応じて、個別または少人数の外出を支援しており、馴染みの場所での楽しみを提供している。現在、コロナ禍前の状況に至っていない為、地域との交流は控えているが、受診・ドライブ・外出・外食等は、家族の協力を得ながら行われており、家族関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲のよい利用者同士が話しやすいように環境をつくっています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去した後も、在宅のケアマネジャーや病院のソーシャルワーカーや家族から連絡があった時は、相談対応しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に、意向を確認しています。	入所前に、本人・家族から意向・生活歴・身体状況等を確認すると共に、他事業所や医療機関から情報を収集しており、詳細な情報把握に努めている。また、日頃から入居者とのコミュニケーションや家族との相談を通して個々の意向や思いを把握しており、本人本位のサービス提供に努めている。	

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	在宅のケアマネジャーやソーシャルワーカーから情報を得ています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の様子観察を実施。随時、看護師から助言や指示を受けています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医に定期的に近況報告しています。訪問看護ステーションに定期的に近況報告しています。	入居者・家族・計画作成担当者・管理者・担当職員等にて、会議を開催し介護計画を作成している。また、定期的に目標の達成状況の確認及び評価を実施し、必要に応じて介護計画を見直しを行う等、適切な介護サービスの提供に努めている。介護計画作成後は、支援方針の周知を徹底し、統一したケアの実践に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、夜間日誌はわかりやすい書式としています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望する利用者は、携帯を使用して頂いております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ予防しつつ、玄関先で対面の面会を可能としています。ご家族とのランチやドライブや自宅ですぐすことを可能としています。		

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	随時、ドクターや看護師には連絡相談して、必要時の受診や処置やお薬の対応しております。	希望のかかりつけ医への受診が可能になっていると共に、必要に応じて職員が通院を支援している。また、定期的に内科や歯科の往診も実施しており、医療機関と密接な連携を図っている。緊急時や急変時においては、協力病院の医師との連携により、迅速な対応がなされ、入居者や家族の安心に繋がっている。その他にも、週2回、訪問看護を導入し、健康管理・医療処置・相談等が行なわれている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	365日24時間訪問看護ステーションと医療連携体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、ソーシャルワーカー、ドクターと連携し、ご家族にもすぐに連絡しております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化について説明しております。	契約時・必要時に重度化や終末期における施設方針等を説明し、契約書を交わしている。本人や家族の意向を踏まえ、医師・看護師等と意見交換を行い、出来る限り希望に沿った終末期支援が行えるよう体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命士を招いた救命講習を5年度はコロナ予防のため実施しておりません。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的実施しております。	スプリンクラー・火災報知器・自動通報装置等の消防設備を設置していると共に、災害時に備え、備蓄品も確保している。避難訓練は年2回実施しており、夜間想定訓練・消火器訓練・通報訓練等を通して、非常災害時に備えている。また、隣接のケアハウスとは緊急時・非常災害時において、迅速かつ適切な対応ができるよう連携体制を構築している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室にはプライベートな私物のもちこみも可能としています。	プライバシー保護や接遇に関する研修を定期的実施しており、入居者一人ひとりのプライバシーと尊厳を大切にしている。また、個人情報保護についても、研修・会議を通して、周知徹底を図っている。日常生活では、一人ひとりに合わせた言葉掛けや支援に努め、その人らしい生活の実現に繋げている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が予定外の受診を希望した場合も臨機応変に対応しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お昼寝、おやつ、食事など希望に沿った対応しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、はみがき、洗顔など本人のペースを尊重しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節のメニューなど食が楽しめるよう心掛けています。	献立や食材は、業者に委託しているが、食事の準備から後片付けまで、入居者と職員が協同で行っている。食事については、入居者一人ひとりに合わせた形態で提供されており、食べやすさに配慮している。また、定期的に行事食や特別食を提供していると共に、手作りおやつやテイクアウトを活用する等、様々な食事メニューや雰囲気作りを工夫し、入居者の生活活性化に繋げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量、排尿量、排便など必要な情報を毎週、訪問看護ステーションに報告して、必要な対応がとれるよう心掛けています。		

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師が毎月訪問して処置や助言や治療や指示を実施しております。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	希望者にはポータブルトイレを貸与しております。	排泄状況を記録しながら入居者一人ひとりの排泄パターンを把握しており、声掛けやトイレ誘導にてトイレでの排泄を支援している。また、身体状況や希望に応じて居室にポータブルトイレを設置する事が可能となっており、入居者に合わせた排泄を支援している。日頃から、食事・水分・運動等を工夫し、必要時には、医師と相談しながら、適切な排便コントロールを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の接種、服薬の調整など、訪問看護ステーションに随時、報告連絡相談をしております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	グループホームには珍しくストレッチャー特殊浴槽を用意しております。	入居者の体調や希望に応じて、柔軟に対応しながら適切な入浴機会を確保している。状況に応じて、シャワー浴、清拭、足浴も実施しており、入居者の清潔保持に努めている。また、機械浴槽も設置しており、入居者の身体状況に合わせた入浴支援が行われている。その他、季節の果実や草花を活用しており、くつろいだ気分で入浴できるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	福祉用具専門相談員と随時連携して、利用者に適した寝台環境づくりに努めております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師には、毎週、連絡相談報告をしております。		

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設周辺を日光浴をかねて散歩しています。ご家族とドライブやランチなどをしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ予防のため外出行事をしておりませんが、ご家族とのドライブやランチを可能としています。	日頃から散歩・買物・ドライブ等の外出を支援すると共に、お花見・地域のイベントに出かける等、様々な外出活動を行っている。現在、感染症対策のため、外出活動は中止しているが、家族との外出は可能となっている。また、敷地内の散歩や室内でのレクリエーション及び行事の充実化を図り、入居者の気分転換や心身の活性化に繋げている。その他にもリハビリや嚥下体操等も取り入れており、身体機能維持に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な範囲で自己管理して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望者には携帯にて、ご家族との会話ができるようにしております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内は木目調であたたかみのある内装としています。照明もやわらかなものを設置しております。	施設内は全面バリアフリーで、廊下やトイレ等は介助スペースが確保されている。また、日当たりが良く、自然の景色や木材の温かみを感じる内装にする等の工夫をしており、入居者が落ち着いて過ごせる環境整備がなされている。その他にも、居住空間作りとして、照明やBGMを活用し、入居者の五感に配慮した雰囲気作りに取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う同士がいっしょの席になるように配慮しています。		

【千葉県】グループホーム第2希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	プライベートな私物の持参を可能としています。	入居者・家族の希望に応じて、馴染みの物を持ち込む事が可能となっており、居心地良く生活できるよう工夫する等、入居者一人ひとりの個性に応じた居室となっている。また、エアコンによる適切な空調管理がなされ、快適に過ごせる環境が整っている。その他にも収納スペースや鍵が設置されており、プライバシーを大切にした居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人ができることを、お花への水やりなどして頂いております。		